

幼児向けインタラクティブWebソフト

ピッケのおうちへ あそびにおいで!

開発者:朝倉民枝

■ 未来型絵本のよみきかせ ■

対象:3~5歳 就学前の幼児とその親

絵本の読み聞かせがブームである。母親の膝の上で、母親の声で物語られる想像の世界に遊ぶひときは、幼児にとって至福の時間である。インターネットという新しいメディアにおいても、その特性を生かしつつ、絵本のような役割を果たす、幼児向けソフトを作りたいと考えた。

- 次世代の子供たちは、コンピュータやインターネットと生涯つきあっていく。その最初の出会いが幸せなものであってほしい。
- 幼い頃の喜びの経験は、人生を歩んでいく力になる。「ピッケのおうち」で、その場所を提供したい。



くすくつたいよおー



いっしょにあそぼう!



はを みかくよ



ピッケには、自分のタイムスケジュールがあります。



もう ねむねむ...

ピッケは、寝て起きてごはんを食べて...日々の生活を送っている。訪れたユーザは、一緒に遊ぶことも、ただその生活を眺めることもできる。

<設計方針>

- ・お母さんと一緒に
幼児がひとりでパソコンに向かうのではなく、母親の膝の上に座って、親子一緒に楽しんでほしい。
- ・お母さんの声で
合成音声による「音」ではなく、母親の「声」(=息=命)で、語りかけてほしい。
- ・生きているメディア
ネット上で暮らしているピッケに会いに行く。インターネットが生きているメディアであることを、感じさせたい。



<全体構成>



<特徴>

- ・キャラクタが、自身の固有の時間により自律的に生きている。
- ・インタラクティブ性がある。
- ・参加型である。

喜ばせるということは、成長する力を与えること。コンピュータやインターネットという新しいメディア上にも、幼児が存分に喜びを味わえる場所をつくっていききたい。

下記URLで公開しています。

<http://www.goodgrief.jp/picke>